

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 あ

男子 1回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
中部大学春日丘高等学校	23	10	—	9	県立越谷南高等学校
		13	—	9	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			

男子一回戦、両チームのキーパーが好セーブを連続。越谷南高校池尾隆斗が先制するも、中部大学春日丘高校の近藤碧音が速攻で得点を挙げ、流れを引き寄せた。流れを変えたい越谷南高校はタイムアウトを取り、石田季里を投入したが流れは変わらず徐々に点差が離される展開となった。越谷南高校山口隼和の好セーブにより流れを引き戻し、得点を重ねたところで、中部大学春日丘高校がタイムアウトをとった。その後、越谷南高等学校の勢いは止まらず、前半は10-9の中部大学春日丘高校のリードで終了した。

後半に入り、お互いチームの持ち味を生かし得点を重ね、一進一退の状況が続いた。越谷南高校に2分間退場者が出たことにより、数的有利になった中部大学春日丘高校が得点を重ね、4点のリードを広げる。4点リードされた越谷南高校は、タイムアウトをとり、チームの立て直しにかかるが点差が縮めることができない。残り7分、越谷南高校に2分間退場者がでて、さらに苦しい試合展開となる。越谷南高校山口隼和の好セーブもあったが、一步及ばず23対18で中部大学春日丘高校が勝利した。

31年3月24日

記載者氏名 後藤 太暉

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 子

男子 1回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立総社高等学校	30	15	10	学校法人石川高等学校
		15	13	
		—		
		—		
		—		
		7mTC		

男子1回戦、総社8番所のミドルシュートで先制。学法石川も13番村井のカットインで反撃。総社の

3:2:1DFを崩せない学法石川はタイムアウト。その間、総社は8番所が7MTを含む3連続得点。学法石

川は5番引地のカットインで応戦するも、点差は縮まらず苦しい展開。前半19分に2回目のタイムアウ

ト。その後は学法石川13番村井のロングシュート、5番引地の7MTなどで得点し互角の展開を見せるも、

総社の5点リードで前半を折り返す。

後半開始から学法石川13番村井のカットインで反撃。12番吉田の好セーブもあり、一気に4連続得

点で1点差。総社堪らずタイムアウト。その後総社は2番橋本の連続得点を含む5連続得点で再び突き

離した。7点差となった後半12分に学法石川は最後のタイムアウト。互いに退場者を出すなど互角の展

開が続く。後半26分総社のタイムアウト後、学法石川はオールマンツォを試み最後まで諦めずに攻める。

しかし、総社も10番安田の速攻などで反撃を許さず、30-23で中国ブロック代表の総社がそのまま振り

切り、2回戦進出を決めた。

H31年 3月 24日

記載者氏名 青木 庸平

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 子

男子 1回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
法政大学第二高等学校	26	[14 - 18]	31	岐阜市立岐阜商業高等学校
		[12 - 13]		
		[-]		
		[-]		
		[-]		
		[7mTC]		

岐阜商業高校からのスローオフで試合は開始、序盤から高めのDFで法政二高は相手のミスを狙い、

開始36秒で法政二高が速攻で走り先制点を取った。そのまま勢いにのり法政二高は、3点リードを

広げる。堪らず、岐阜商業がタイムアウトをとり、徐々に岐阜商業が持ち味の速攻を駆使し、点差を縮

める。その後、一進一退の攻防が続いたが、岐阜商業高校の7番五島壮羅の多彩なポストプレーと素早

い速攻から点を重ね、岐阜商業が開始20分間で8点差と逆転し、法政二高を引き離した。

法政二高は2回目のタイムアウトを使い、その後は法二高の14番の藤本青葉の3点連続得点で前半は

14-18で岐阜商業のリードで終了。後半は岐阜商業の2分間退場が3名連続で続くも、法政二高

は点差を縮めたいが、岐阜商業1番キーパーの今井楽人の好セーブに苦しむ展開となった。

法政二高は2番の関亮祐のポストプレーで点を取りたいが、対する岐阜商業8番の武市晃季の高身長

を生かしたDFをなかなか突破できず、要所を確実に押さえた岐阜商業高校がリードを保ったまま2回

戦へと駒を進めた。

2019年 3月24日

記載者氏名 瀬野 育美

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 え

男子 1回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
東大寺学園高等学校	24	[16 - 24 8 - 23 - - - 7mTC	高岡向陵高等学校
]	47	

初出場・東大寺学園のスローオフで試合開始。先制点は、高岡向陵7番七分のゴール。すぐさま、

東大寺学園も2番岩本のミドルで取り返し、一進一退の攻防が続く。相手のミスから高岡向陵が

速攻を決め得点を重ねる。前半、16分東大寺学園がすかさずタイムアウトを取り、流れを変えよう

とするが、高岡向陵の勢いは止まらず硬いDFから、速攻へと繋ぎ確実にゴールを決め、

24-16の高岡向陵が8点リードで、前半が終了した。

後半に入っても高岡向陵の勢いは止まらず、5点連続得点で点差を広げる。東大寺学園もGKの

好セーブから速攻へと繋げるが、高岡向陵のGKに阻まれ、1点が遠い。高岡向陵のDFを割ろうと

多彩な攻撃を仕掛けるが、相手GKの攻守でなかなかゴールを割ることができず、反撃の糸口を

つかむことができない。一方の高岡向陵は安定したDFから、速攻、OFのセットプレーで攻撃の

手を緩めず、試合の流れを完全につかんだ。その後も、東大寺は2番のシュートで反撃を試みるが

点差を縮めるには至らず、高岡向陵が安定した試合運びで勝利した。

平成31年3月24日

記載者氏名 磯前 記世

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 お

男子 1回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
県立山形中央高等学校	20	11	—	18	熊本国府高等学校
		9	—	18	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			

男子一回戦初日最終試合は、熊本国府 15 番渡邊舜也の右サイドシュートから幕が上がった。

さらに2点の追加点を重ねる熊本国府だが、山形中央も17番森谷海威のカットインで1点目をあげ

ると、次第にシーソーゲームの様相を呈していく。取って取られての展開が続くが、徐々に熊本国府

がジリジリとリードし始め、4点まで離れたとき、たまたま山形中央がタイムアウトを取る。それ

でも勢い収まらぬ熊本国府は、速攻や3番辻本賢生のポストプレーを中心に攻め立てる。山形中央は

2番安食颯斗の鮮やかなステップシュートで反撃するも、なかなか点差は縮まらず、11-18で

前半を終える。後半立ち上がりも攻撃の手を緩めない熊本国府は、速いパス回しから立て続けに2点

を奪う。食らいつきたい山形中央は、キャプテンの2番安食颯斗が奮闘し、5番熊谷翼と4番井上聖

斗の両バックがそれに応えた力強いプレーをみせる。一方熊本国府は13番蓮澤圭のキレのある1対

1が光り、素早い展開と流れるような速攻が最後まで止まることがなかった。終わってみると、

終始流れを離さなかった熊本国府が、大きなリードを保ったまま危なげなく勝利を手にした。

31年 3月 24日

記載者氏名 高橋 凜太郎